

# 第6回 日本ユング心理学会（JAJP）研修会のご案内

主催：日本ユング心理学会

日時：2019年9月15日（日）12：00-16：45

会場：京都アスニー（京都市中京区聚楽廻松下町9の2）

## ご挨拶

すでにご承知の通り、当学会では、2012年4月の設立と同時に「認定心理療法士」資格の認定を開始し、以降、すでに49名の方がこの資格を取得されました。

この資格の創設は、それぞれの学会が認定する専門資格の役割が今後増すであろうという予測のもとで、ユング心理学に基づく心理療法家の育成・認定を目指すものです。またユング派分析家資格の要件のほぼ半分にあたるもので、手の届きやすい資格であると同時に、将来の分析家資格取得にもつながるものです。

2014年度より、本学会資格研修委員会では、会員の方々の参加を優先させつつ、心理臨床を実践しておられる方々にも広く門戸を開き、臨床の質を高めていくための研修機会を提供することを目的とし、第6回日本ユング心理学会研修会を企画いたしました。

内容といたしましては、本学会認定心理療法士資格をもつ講師による、理論と技法、双方の面でユング心理学の「基礎」を学ぶ分科会と、特定のテーマを設定した「事例検討」の分科会となっております。

奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

2019年7月吉日

日本ユング心理学会  
資格研修委員長 河合 俊雄

## <開催要領>

1. 定員：180名

2. 参加資格：以下の条件のいずれかを満たす方

- ①日本ユング心理学会会員
- ②心理臨床の実践に職業として携わっている方
- ③臨床心理学を専攻する大学院生

3. 参加費：学会員：4,000円 非会員：7,000円 大学院生（非会員）：5,000円

4. 研修内容：以下の6グループに分かれ、分科会を行います。

セッションⅠ（12：00-14：15）/セッションⅡ（14：30-16：45）

(1) セッション I (12:00-14:15)

● 〈事例検討1〉 川戸 圓(川戸分析プラクシス)

「精神疾患の回復過程におけるユング心理学的な関わりについて」

精神科臨床に携わる臨床心理士にとって、精神科病棟での経験豊富な精神科医の「経験の書」は有意義なものである。その一つとして、中井久夫先生の『精神科治療の覚書』(日本評論社)があげられるだろう。平易な言葉で紡がれる書の中で、発病過程と回復過程の違い等々が論じられている。発病過程では医学的な関わりが優先することが多いが、回復過程では細やかな配慮のある関わりが必要となる。その細やかな配慮のある関わりの本質についてユング心理学的な観点も考慮して考えてみたい。

事例発表者: 鮫島 圭輝

● 〈事例検討2〉 田中 康裕(京都大学大学院教育学研究科)

「夢のなかの「自己関係」の諸相と変容」

夢を解釈する際、ユングが「主体水準」と「客体水準」の別を設けたことはよく知られている。とりわけ前者はユング心理学的であるが、別の言い方をすれば、そこでは、「自己関係」が扱われていると言えるだろう。この分科会では、解離性障害との診断で来談した女性が報告した夢のなかの「自己関係」の諸相やそれが変容してゆくプロセスを、バウムテストや風景構成法も対照しつつ検討したい。

事例発表者: 長野 真奈

● 〈基礎1〉 豊田 園子(豊田分析プラクシス)

「クライアントに寄り添うということ」

心理療法はクライアントと向き合うことから始まります。セラピストもまたクライアントの前にわが身を晒し、対峙することは一個の人間対人間の出会いとして基本といえます。それを前提としながらも、心理療法においてより重要になるのは、セラピストがクライアントに寄り添うことではないかと思われまます。それは単なる共感でもなく、ましては抱えることでもありません。何もせず、ただ寄り添うというのは、本当は難しいことかもしれません。事例を提供していただき、そうしたことを考えてみたいと思います。

事例発表者: 久米 禎子

「対人恐怖、社会不安を主訴に来談した20代の女性の事例」

(2) セッション II (14:30-16:45)

● 〈事例検討3〉 河合 俊雄(京都大学 ころの未来研究センター)

「心理療法と夢」

特に夢分析だけを行ってなくても、心理療法において夢の報告がいくつかあると、それがクライアントについての見立てを変えたり、また重要な変化をもたらしたりする。夢をいくつか含む事例を検討したい(事例提供を公募する)。

※この分科会では、参加者からの事例発表を募ります。ご希望の方は、申込フォームに100字程度の事例の概要をご記入ください。

● 〈事例検討4〉 岩宮 恵子(島根大学人間科学部)

「現代の心理療法とネット」

現代は実際に顔を合わせて行うコミュニケーションよりも SNS による交流のほうが圧倒的に多くなってきている。そしてゲームやスマホ依存の問題も思春期だけでなく、あらゆる年代で問題になってきている。その一方で、ネットがあるがゆえに問題への解決への糸口が見つかる事例に出会うこともある。この分科会では、心理療法のプロセスのなかで、どこかでネットが関わっている事例から、現代の心理療法とネットについて考察していきたい。

※この分科会では、参加者からの事例発表を募ります。

「どんな形ででも、ネットが関わっている事例を公募します。」

ご希望の方は、申込フォームに 100 字程度の事例の概要をご記入ください。

● 〈基礎2〉 桑原 知子(京都大学大学院教育学研究科)

「学校臨床における「関係」について～ユング心理学の考え方を手がかりに～(2)」

学校現場においては、セラピスト-クライアント関係だけではなく、さまざまな「関係」が生じる。これらの「関係」はともすると葛藤を含みがちで、「チーム学校」とよばれる運営体制をとっていくうえにおいても、様々な難しさが予想される。今回の研修会では、昨年引き続き、学校に生じる「関係」の難しさを、ユング心理学の考え方を手がかりとして解きほぐしてみたい。

※この分科会では、参加者からの事例発表を募ります。

「どんな立場でやったものでも、どのような事例でもかまいません。学校に関わる場で感じた「関係」の困難さをともに考えたいと思います。」

ご希望の方は、申込フォームに 100 字程度の事例の概要をご記入ください。

5. 参加・発表お申込みについて

右記の「[お申し込みはコチラ](#)」または QR コードから[申し込みフォーム](#)よりお申し込みください。登録が完了しましたら自動返信メールが送信されます。

(申し込みフォームは、パソコン・スマートフォン対応)



\*自動返信メールが届かない場合は、日本ユング心理学会事務局 ([office@jajp-jung.info](mailto:office@jajp-jung.info)) までご連絡ください。

\*フォームからお申し込みが出来ない場合は、必要事項を記入の上、メール ([office@jajp-jung.info](mailto:office@jajp-jung.info)) または FAX (06-7632-4221) にて、日本ユング心理学会事務局までご連絡ください。

必要事項:①氏名②ふりがな③住所④返信用のメールアドレス⑤所属/専攻⑥参加区分(会員・非会員・非会員(大学院生))⑦臨床心理士番号⑧参加ご希望の分科会(セッション I・II)⑨事例発表ご希望の分科会⑩事例発表の概要(100 字程度)

[お申し込みはコチラ>>>](#)  
(申込フォームへ)

**\* 申込締め切り : ~~2019年8月19日(月)~~ 9月4日(水) ※発表の申込は締め切りました**

- ・お申込み受付は、原則として先着順とさせていただきます。
- ・事例検討の分科会は、日本ユング心理学会会員を優先して受付いたします。
- ・希望者多数の場合にはご参加いただけない場合もありますので、予めご了承ください。
- ・研修ポイントについて、本研修会への参加は、日本臨床心理士資格認定協会の「臨床心理士教育・研修規定別項」第2条第3項「本協会が認める関連学会での諸活動への参加」の通り、ポイントが付与されます。

\*参加証は、研修証明書の代わりになりますので、大切に保管してください。

- ・参加証等は、事前に発送いたしません。
- ・申込者本人のみ、ご参加可能です。
- ・各分科会の教室については、8月下旬ごろにメールにてお知らせします。

## 6. 参加費のお振り込みについて

自動返信メールの内容をご確認の上、~~2019年8月23日(金)~~ **9月6日(金)**までに、以下の口座へお振り込みください。

**振込先：三井住友銀行 備後町(びんごまち)支店 普通 1795872 日本ユング心理学会**

- ・振込掲載書は領収証代わりになりますので、必ず保管し、当日ご持参ください。
- ・お振り込みは、必ず本人のお名前でお願います(異なる場合は、事前にご連絡ください)。
- ・納入された参加費は返金できませんので、予めご了承ください。

## 7. 研修会に関するお問合せ先

日本ユング心理学会 (JAJP) 事務局

住所：〒541-0047 大阪市中央区淡路町 4-3-6 新元社内

Fax：06-7632-4221

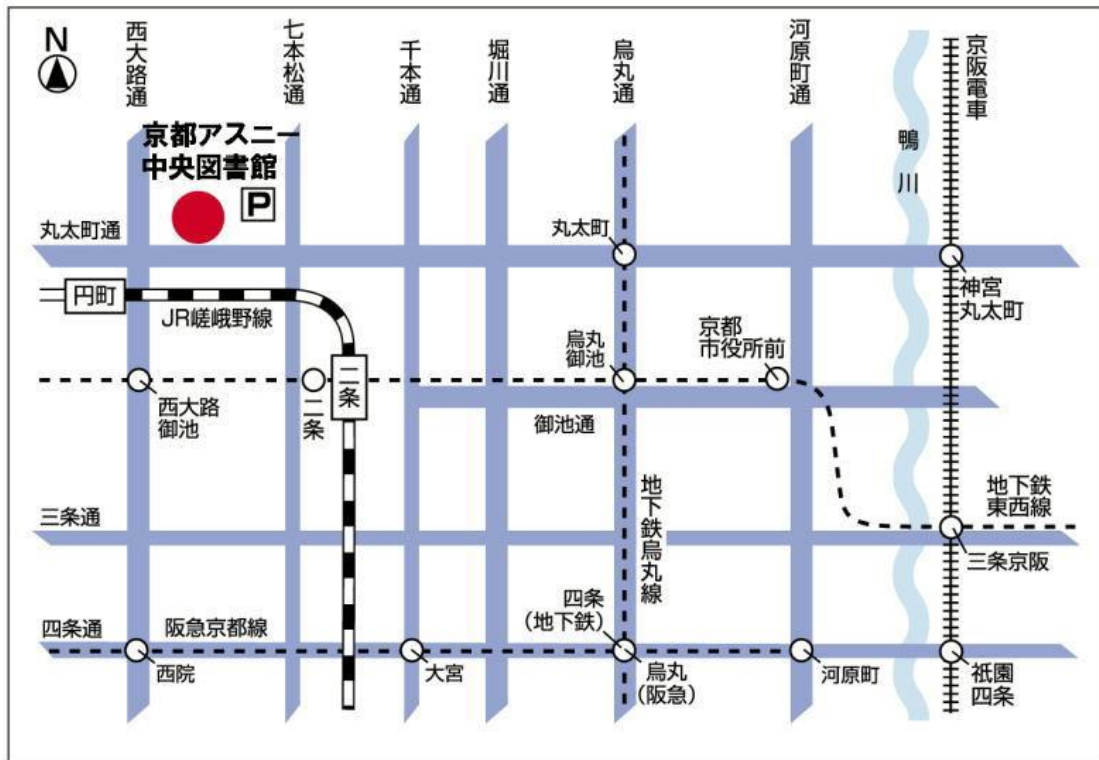
e-mail：office@jajp-jung.info

## 8. 会場案内

京都アスニー

住所：京都市中京区聚楽廻松下町 9 の 2

URL：<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/asny1/top.html>



- JR・近鉄京都駅から
  - 市バス 206/約 22 分→千本丸太町下車 西へ徒歩 400m
  - JR バス/約 20 分→丸太町七本松下車
- JR・地下鉄二条駅から
  - 市バス 15/約 5 分→丸太町七本松下車
  - 京都バス 61・62・63・65/約 5 分→丸太町七本松下車
  - JR バス/約 5 分→丸太町七本松下車
- 阪急大宮駅から
  - 市バス 6・46・55・201・206/約 8 分→千本丸太町下車 西へ徒歩 400m
  - JR バス/約 10 分→丸太町七本松下車
- 阪急西院駅から
  - 市バス 202/約 10 分→丸太町七本松下車
- 地下鉄丸太町駅から
  - 市バス 93・202・204/約 10 分→丸太町七本松下車
- 京阪三条駅から
  - 市バス 15/約 20 分→丸太町七本松下車
  - 京都バス 61・62・63・65/約 20 分→丸太町七本松下車
- 京阪神宮丸太町駅から
  - 市バス 93・202・204/約 15 分→丸太町七本松下車
- JR 丸太町駅から
  - 市バス 15・93・202・204/約 3 分→丸太町七本松下車
  - 京都バス 61・62・63・65/約 3 分→丸太町七本松下車
  - JR バス/約 3 分→丸太町七本松下車
- 駐車場 施設利用者 30 分までごとに 100 円
  - (※ 1 階事務所に駐車券をご持参のうえ、館内利用手続きを行ってください)